

# 中小企業景況調査報告書（愛知県概略版）

（平成28年10月～12月期実績、平成29年1月～3月期見通し）

## 1 県内商工会地区における産業全体景況

### 「売上額」「採算」「資金繰り」すべての指標が好転

今期の産業全体の景況は、売上額D Iが△16.3、採算D Iが△18.1、資金繰りD Iが△11.9となり、対前期比でそれぞれ7.8ポイント、2.7ポイント、1.4ポイント増加し、すべての指標が好転した。採算D Iは1年ぶりの上昇となった。































次期は、採算D I、資金繰りD Iは回復が見込まれるが、売上額D Iは悪化が懸念される。

業種別では、製造業、小売業ですべての指標が好転したが、サービス業は、2期連続ですべての指標が低下した。

### 産業全体の主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △16.3（対前期比 7.8 好転） 次期予想 △18.0（対前期比 △1.7 悪化）
- ・採算D I △18.1（対前期比 2.7 好転） 次期予想 △16.7（対前期比 1.4 上昇）
- ・資金繰りD I △11.9（対前期比 1.4 好転） 次期予想 △10.8（対前期比 1.1 上昇）

### 産業全体景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
28年1月～3月		△20.0 		△13.7 		△12.5 
28年4月～6月		△19.0 		△17.6 		△7.3 
28年7月～9月		△24.1 		△20.8 		△13.3 
28年10月～12月		△16.3 		△18.1 		△11.9 
29年1月～3月 （見通し）		△18.0 		△16.7 		△10.8 

## 2 業種別景況

### (1) 製造業

#### 製造業は2期ぶりにすべての指標が好転

製造業では、売上額D Iが△19.5、採算D Iが△11.7、資金繰りD Iが△8.3となり、対前期比でそれぞれ0.5ポイント、15.5ポイント、6.4ポイントすべての指標が好転した。

前期は、すべての指標が悪化し、資金繰りD Iは2ケタのマイナスとなったが、今期は、採算D Iが2ケタの回復となった。































売上額D I、採算D I、資金繰りD Iともに、平成27年4～6月期より、四半期ごとに好転、悪化を繰り返している。

次期は、すべての指標で悪化の見通しであり、状況は厳しい。

#### 主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △19.5 (対前期比 0.5 好転) 次期予想 △27.7 (対前期比 △8.2 悪化)
- ・採算D I △11.7 (対前期比 15.5 好転) 次期予想 △15.7 (対前期比 △4.0 悪化)
- ・資金繰りD I △8.3 (対前期比 6.4 好転) 次期予想 △11.1 (対前期比 △2.8 悪化)

#### 製造業景況天気図

時 期	売上額D I			採算D I			資金繰りD I		
28年1月～3月		△29.4			△21.2			△8.9	
28年4月～6月		△16.7			△18.2			2.8	
28年7月～9月		△20.0			△27.2			△14.7	
28年10月～12月		△19.5			△11.7			△8.3	
29年1月～3月 (見通し)		△27.7			△15.7			△11.1	

## (2) 建設業

### 建設業は売上額D I、採算D Iがプラスに転化

建設業では、売上額D Iが8.4、採算D Iが4.2となり、対前期比でそれぞれ8.4ポイント、4.2ポイント上昇し、プラスの数値に転じた。資金繰りD Iは4.4となり、対前期比で4.7ポイント悪化した。































採算D Iは5期連続、売上額D Iは3期連続で上昇し、各指標、引き続き回復傾向となっている。

次期は、すべての指標が悪化に転じる見通しである。

### 主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I 8.4 (対前期比 8.4 上昇) 次期予想  $\Delta 4.2$  (対前期比  $\Delta 12.6$  悪化)
- ・採算D I 4.2 (対前期比 4.2 上昇) 次期予想  $\Delta 8.4$  (対前期比  $\Delta 12.6$  悪化)
- ・資金繰りD I 4.4 (対前期比  $\Delta 4.7$  悪化) 次期予想 0.0 (対前期比  $\Delta 4.4$  低下)

### 建設業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
28年1月～3月		$\Delta 21.8$ 		$\Delta 20.9$ 		$\Delta 25.0$ 
28年4月～6月		$\Delta 4.2$ 		$\Delta 20.8$ 		$\Delta 12.5$ 
28年7月～9月		0.0 		0.0 		9.1 
28年10月～12月		8.4 		4.2 		4.4 
29年1月～3月 (見通し)		$\Delta 4.2$ 		$\Delta 8.4$ 		0.0 

### (3) 小売業

#### 小売業はすべての指標が2ケタの好転

小売業では、売上額D Iが△20.9、採算D Iが△18.3、資金繰りD Iが△10.2となり、対前期比でそれぞれ24.0ポイント、14.4ポイント、12.2ポイント好転した。































前期まで、売上額D Iと採算D Iは3期連続で低下していたが、今期はすべての指標が2ケタの回復となった。

次期も、すべての指標が上昇する見通しである。

#### 主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △20.9 (対前期比 24.0 好転) 次期予想 △14.3 (対前期比 6.6 上昇)
- ・採算D I △18.3 (対前期比 14.4 好転) 次期予想 △16.4 (対前期比 1.9 上昇)
- ・資金繰りD I △10.2 (対前期比 12.2 好転) 次期予想 △8.2 (対前期比 2.0 上昇)

#### 小売業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
28年 1月～3月		△35.4 		△18.3 		△18.3 
28年 4月～6月		△42.8 		△24.5 		△14.3 
28年 7月～9月		△44.9 		△32.7 		△22.4 
28年 10月～12月		△20.9 		△18.3 		△10.2 
29年 1月～3月 (見通し)		△14.3 		△16.4 		△8.2 

## (4) サービス業

### サービス業は2期連続ですべての指標が低下

サービス業では、売上額D Iが $\Delta 20.0$ 、採算D Iが $\Delta 28.6$ 、資金繰りD Iが $\Delta 20.3$ となり、対前期比でそれぞれ1.0ポイント、12.4ポイント、7.1ポイント低下した。採算D Iは2ケタの減少となった。































売上額D Iと採算D Iは3期連続、資金繰りD Iは2期連続の減少となった。

次期は、採算D I、資金繰りD Iは回復が見込まれるが、売上額D Iは悪化が懸念される。

### 主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I  $\Delta 20.0$  (対前期比  $\Delta 1.0$  低下) 次期予想  $\Delta 20.3$  (対前期比  $\Delta 0.3$  低下)
- ・採算D I  $\Delta 28.6$  (対前期比  $\Delta 12.4$  低下) 次期予想  $\Delta 20.6$  (対前期比 8.0 好転)
- ・資金繰りD I  $\Delta 20.3$  (対前期比  $\Delta 7.1$  低下) 次期予想  $\Delta 16.1$  (対前期比 4.2 好転)

### サービス業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
28年1月～3月		$\Delta 4.3$ 		$\Delta 4.2$ 		$\Delta 5.8$ 
28年4月～6月		$\Delta 8.6$ 		$\Delta 11.5$ 		$\Delta 5.7$ 
28年7月～9月		$\Delta 19.0$ 		$\Delta 16.2$ 		$\Delta 13.2$ 
28年10月～12月		$\Delta 20.0$ 		$\Delta 28.6$ 		$\Delta 20.3$ 
29年1月～3月 (見通し)		$\Delta 20.3$ 		$\Delta 20.6$ 		$\Delta 16.1$ 

### 3 設備投資の状況

	今期実施		来期計画	
	実施企業割合	主な投資内容	計画企業割合	主な投資内容
製造業	5.6%	生産設備	2.8%	生産設備
建設業	4.2%	建設機械、車両運搬具	4.2%	車両運搬具
小売業	4.1%	店舗	4.1%	店舗、車両運搬具
サービス業	12.9%	サービス、車両運搬具、 付帯施設、その他	0.0%	

### 4 経営上の問題点

業種	順位	問題点の内容	割合
製造業	1位	需要の停滞	35.7%
	2位	生産設備の不足・老朽化	10.7%
		製品（加工）単価の低下、上昇難 従業員確保難	
建設業	1位	民間需要の停滞	25.0%
	2位	大企業の進出による競争の激化	15.0%
		材料価格の上昇 官公需要の停滞	
小売業	1位	需要の停滞	34.1%
	2位	大型店・中型店の進出による競争の激化 購買力の他地域への流出	15.9%
サービス業	1位	需要の停滞	31.7%
	2位	材料等仕入単価の上昇	18.3%
	3位	新規参入業者の増加	11.7%
店舗施設の狭隘・老朽化			

# 中小企業景況調査について

## 1 調査目的

この調査は、四半期毎に、全国商工会連合会が行う中小企業景況調査から愛知県内商工会地区における経済動向等に関する情報の分析を行い、効果的な経営支援の実施ならびに事業活動の参考とすることを目的とする。

## 2 調査要領

### (1) 調査対象時期

平成28年10月から12月の第3四半期を対象とし、調査時点は平成28年11月15日。






### (2) 調査対象企業

愛知県内12商工会地区内180企業。(内訳：製造業36企業、建設業24企業、小売業49企業、サービス業71企業)。

### (3) 各調査項目の数字及び記号の説明

本報告書中のD Iとは、景気動向指数と呼ばれるもので、各調査項目についての増加(上昇、好転)企業割合から減少(低下、悪化)企業割合を差し引いた数値。

この数値と記号の関係については、下記のとおり

 雨 △100.0～△60.1	 曇 △ 60.0～△20.1	 薄曇 △ 20.0～20.0	 晴れ 20.1～60.0	 快晴 60.1～100.0
---	---	---	---	--

平成28年12月15日作成  
愛知県商工会連合会 指導課  
TEL : 052-562-0040